

富山大学 都市デザイン学部 同窓会

Vol. 00

同窓会誌
(発刊 2022年3月)



同窓会設立にあたって

都市デザイン学部同窓会長 渡邊 了 学部長



第一期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。都市デザイン学部は、2018年4月の皆さんの入学とともに始まりました。この学部は、持続可能な社会の実現に貢献する人財の育成を目指して、デザイン思考、データサイエンス、PBLなどの新しい教育に取り組んできました。人口減少・

超高齢化、地球温暖化をはじめとする社会課題には、様々な分野が協働して多面的に取り組むことが求められるからです。われわれ教員にとっても大きな挑戦でしたが、学生の皆さんの主体的かつ積極的な取り組みのお蔭で、無事に学部教育を立ち上げることができました。心より感謝を申し上げます。4年間のうち半分以上がコロナの影響を受けてしまったことは本当に残念です。入学前に思い描いていた学生生活

とはだいぶ違ったことと思いますが、これも貴重な経験と肯定的に捉えてください。

一年前に学部の同窓会が設立されました。もちろん、第一期生の卒業後に設立するという考えもありましたが、それでは打合せなどがさらに難しくなると考えたのです。同窓会の活動は、会員相互の交流や就職活動等における後輩の支援などが一般的です。しかし、こうしたイメージにとらわれずに、新しいスタイルの同窓会を考えてもよいと思うのです。これから忙しい生活が始まると思いますが、皆さんで知恵を出し合って(デザイン思考!)同窓会を作り上げていってください。われわれも精一杯お手伝いします。



都市デザイン学部の歩み[設立まで]



[北日本新聞 朝刊 平成30年4月3日 24面]



- 1923年(大正12) 10月 富山高等学校(県立)発足(人文学部・理学部の前身)
- 1943年(昭和18) 3月 富山高等学校が官立に移行
- 1944年(昭和19) 4月 高岡工業専門学校発足(工学部の前身。機械科、化学工業科、電気科、金属工業科)を設置
- 1949年(昭和24) 5月 国立学校設置法により富山大学発足。文理学部、工学部(電気工学科、工業化学科、金属工学科)を設置
- 1965年(昭和40) 4月 化学工学科を設置
- 1977年(昭和52) 文理学部を改組し、人文学部、理学部(数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球科学科)を設置
- 1990年(平成2) 4月 工業化学科と化学工学科と金属工学科を改組し、物質工学科と化学生物工学科を設置
- 1997年(平成9) 4月 物質工学科と化学生物工学科を改組し、物質生命システム工学科を設置
- 2004年(平成16) 4月 国立大学法人法の規定により国立大学法人となる
- 2005年(平成17) 10月 富山大学、富山医科薬科大学及び高岡短期大学を再編・統合し、富山大学となる
- 2008年(平成20) 4月 物質生命システム工学科を改組し、生命工学科、環境応用化学科、材料機能工学科を設置
- 2014年(平成26) 8月 新学部設置へ向けて文部科学省との意見交換を開始
- 2017年(平成29) 4月 都市デザイン学部設置準備委員会の設置
- 8月 文部科学省から都市デザイン学部の設置を可とする旨の通知がある
- 8/9月 都市デザイン学部オープンキャンパス(8/4~5)・プチオープンキャンパス(9/23~24)の開催
- 2018年(平成30) 4月 都市デザイン学部(3学科)設置
 - ・地球システム科学科(理学部地球科学科から移行)
 - ・都市・交通デザイン学科(新設)
 - ・材料デザイン工学科(工学部材料機能工学科から移行)
- 7月 都市デザイン学部 開設記念式典・記念講演会(7/25 富山国際会議場メインホール)

第1期生の歩み

- 2017年(平成29) 10月 AO入試(出願期間10/10~16、第一次選抜合格者発表 11/7)
- 2018年(平成30) 2月 一般入試 前期日程(2/25、合格発表3/9)
3月 一般入試 後期日程(3/12、合格発表 3/21)
- 2018年(平成30) 4月 第1期生入学 入学式(4/5 富山市総合体育館)
5月 学科合同研修会(5/12~13 国立立山青少年自然の家)
7月 平成30年7月豪雨(6/28~7/8:“西日本豪雨”)
8月 都市デザイン学部開設して初のオープンキャンパス(8/3~4)
- 2019年(令和元) 4月 富山駅南北自由通路の開通(4/21)
10月 令和元年東日本台風(台風第19号)による豪雨災害
消費税率10%に引き上げ
- 2020年(令和2) 3月 富山市 路面電車の南北接続(3/21)
4月 新型コロナウイルスの感染の拡大、非常事態宣言の発令。富山大でも
遠隔授業の実施
10月 地域デザインPBL 開始(11/30 成果発表会 オンライン開催)
- 2021年(令和3) 1月 富山市 36年ぶりの豪雪[最深積雪17~11: 128cm、富山地方気象
台(令和1月15日速報)]
7~9月 東京2020オリンピック(7/23~8/8)・パラリンピック(8/24~9/5)の開催
- 2022年(令和4) 3月 第1期生卒業 学位記授与式(3/23)





4年間の思い出

地球システム科学科 見上 有蘭

富山大学に入学して4年間、様々な経験をさせていただきました。

地球システム科学科は、実験や野外での実習がありました。座学で学んだことを、実際に目で見て、触ることで、理解を深めることができました。思い出はたくさんありますが、2年生の時に行われた1泊2日の能登巡検が1番印象に残っています。能登のいろいろな場所へ行き、その場所ごとに教授の詳しい説明を聞きながら、地層や岩石を観察しました。また、お天気に恵まれていたので、日中は綺麗な景色を見ながら、友人と楽しくお昼ご飯を食べました。夜はホテルのカラオケルームでミーティングを行い、情報共有をしました。学ぶことも、楽しいことも多かった巡検ということで、1番思い出に残っています。

大学卒業後は、社会人になりますが、大学で出会った友人や思い出を大切に、頑張っていきたいです。



大学生活で学んだこととこれからについて

都市・交通デザイン学科 上埜 由美子

私はこの学部学科での大学生活を通して、自身が専攻する分野以外にも関心を持ち、その考え方を理解することの大切さを学びました。

このことを一番学んだのは異なる学科の学生とのPBL授業の時間です。学びの切り口が異なれば物事の捉え方や課題解決のアプローチの仕方も変化するため、自分ではベストだと思う内容でも他の人に理解してもらうことは簡単ではないことを実感しました。この経験を通して円滑にグループワークを進めるには、相手が何を重要としていて、どのような点で折り合いをつけられるかを考えて行動することが大切であると思いました。

私は春から、独立行政法人鉄道・運輸機構の建築職に就職します。鉄道の仕事は土木や機械、電気、事務職など専門性の異なる方との連携が重要です。これからは一層他の分野の考え方を理解し連携をとることに努め、自分を成長させたいと思います。また建築や土木などを幅広く学んできた強みを活かして他分野との連携の際に橋渡しの役割を果たしたいと思います。



大学4年間で学んだこと

材料デザイン工学科 辻口 隼人

都市デザイン学部材料デザイン工学科に入学してからの4年間で多くのことを学ぶことができました。材料デザイン工学科の講義を通して、材料の特性や構造など専門的なことを学び、材料選択と適材適所の重要性を気づくことができました。また、大学4年生から組織制御工学研究室に所属し、松田健二教授をはじめとして組織制御工学研究室の先生方や先輩方の指導のもと新しい自動車用アルミニウム合金の研究を行っていくにつれて、より一層材料組織についての知識を身に付けることができました。さらには、学科の枠を超え異なる分野の学生との交流を行い、多様な視点や考え方に触れ、多角的に物事を捉え課題の解決に取り込む良い経験をしました。

私は春から大学院へ進学します。この大学4年間で学んだことを活かして更なる研究のグローバルな発展に努めたいと思います。



都市デザイン学部

富山大学 都市デザイン学部同窓会 <http://www3.u-toyama.ac.jp/sdalumni/index.html>
同窓会事務局 〒930-8555 富山県富山市五福 3190 工学部内
Tel:076-445-6335 (内 6335), Fax:076-445-6697
E-mail:sdalumni@sus.u-toyama.ac.jp

